学校経営計画(グランドデザイン)案

仙台市立泉松陵小学校

児童の実態

〇学習に意欲的に取り組み与えられ た課題をやり遂げる一方、自分で考えて判断することが苦手な児童も多い。 〇学習習慣や基本的な生活習慣が見 ついていない児童が見られる。

〇自己肯定感が高い児童が多い 〇コミュニケーションが苦手で友達との 関わりが難しい児童が見られる。

児童の課題

- ・言葉によるコミュニケーション能力の育成
- ・メディアをコントロールした生活習慣の育成
- 自分の考えをまとめ表現する力の育成

保護者や地域の状況

○学校に対して協力的な家庭が多い。 〇子供とうまく関わりが持てない保護者が 見られる

の地域の学校という意識が強く、学校の教育活動において、地域や保護者から協力が得られている。

重点的に育成を目指す資質・能力

【認め助け合う力】

期 目

標

・挨拶や言葉遣いの大切さを理解するカ(知・技) ・相手の気持ちを考えて接するカ(思・判・表) ・他者とより良く関わろうとする態度(学・人) ・自分の健康や望ましい生活習慣を理解するカ(知・技)

【しなやかで頑張りのきく体】

【自ら考え学ぶ力】

- ・自分の健康や望ましい生活習慣を理解するカ(知・技)・メディアコントロールを実践するカ(思・判・表)・より良い生活習慣を図ろうとするカ(学・人)・各教科における聞くカ・話すカ・読むカ・書くカ(知・技)・自分の考えを表現できるカ(思・判・表)

- ・多様な考えを尊重しより良いものを求めようとする態度(学・人)

目指す学校像

・子供が明日も来たいと思え る学校 ・教職員が明日も勤務したい

- ・ と思える学校 ・保護者が明日も通わせたい
- 保護者が明白も通りとだる 思える学校 ・地域がここにあって良かっ
- たと思える学校

学校教育目標

「豊かな<mark>心</mark>と健やかな<mark>体</mark>を持ち 自ら<mark>考</mark>え 未来を切り開く児童の育成」

~笑顔・チャレンジ・思いやり~

目指す教職員像

- ・たくましくしなやかに自立する児童を育成できる教職員 ・子供と共に歩む教職員
- 保護者や地域から信頼される教

今年度, 特に重点的に育成を目指す資質・能力

右 期 Ħ

橝

- ・相手の気持ちを考えて接する力
- ・メディアコントロールを実践する力 ・自分の考えをまとめ表現できる力

コミュニティスクール 泉松陵小学校·松陵中学校 学校運営協議会

【小中9年間目指す児童生徒像】 人と関わり合う力の育成

令和4年度 重点目標

学校で目指す重点目標

重点目標 1

(心)

【体】 【者】

[心] 相手の気持ちを考えて接する ヵ

重点目標 2

【体】 メディアコントロールを実践する力

重点目標 3

【考】 自分の考えを表現できる力

三者協働で目指す重点目標

重点目標 4 (協働型学校評価到達目標)

と関わり合う力の育成 「相手と目を合わせて進んで挨拶 プラスー言」ができる児童の育成

○泉松陵小いじめ防止基本方針

- に基づく命と心を育む教育 ・道徳教育を核とした取組 ・たくましく生きるプログラムや
- 自分作り教育の実践・いじめ防止絆キャンペ 語と行動目標の策定と実践
- 〇ルール(規律)とリレーション (親和的な関り)に基づく学級づく
- ・学校生活アンケートやQ一Uの 害施
- ・ふれあい面談の実施 ・「ふわふわことば」「ちくちくこと ば」の実践 -シャルスキルトレーニング
- 〇異学年交流の充実 ・なかよし活動(たてわり)の充 寠
- ・幼保小交流や小中連携

- ○情報モラル教育の推進 ・学活や道徳を中心とした取組 ・外部講師による出前講座
- 〇小中連携事業の実践 ・家庭と連携したスクリーンタイム の実践
- ○情報活用能力の育成 ・GIGAスクール構想を生かした
- ・GIGAスクール 情報教育の推進
- ○生活習慣の振り返り
- ・すくすくシートによる振り返りと 望ましい生活習慣の振り返り
- ○想像力を広げ語彙力を増やすたの 読書活動やNIE教育の推進 ・読み聞かせの実施

 - ・詩書タイトの充宝
- 図書の時間の確保
- ・本に親しむ環境整備
- 新聞の活用の実践
- ○基礎基本の確実な習得と言語能力 を高める授業の充実
- ・各教科における「書く」「話す」場の設
- -・見方や考え方を広げ次の学びに向
- かう問いの充実
- •ICTを活用した各自の考えの可視化
- ○泉松陵小スタンダードによる学 習習 慣の確立と家庭学習の習慣化
- 家庭学習の内容の吟味

協働型学校評価における 今年度の重点目標

「相手と目を合わせて進んで挨拶プラス言」できる児童の割合を80%にする

三者による改善活動

挨拶や他者とのコミュニケーションの

心地良さを実感させる ・小中や地域が連携する機会をとらえ 挨拶できる関係や環境づくりを推進す

・子供の話を最後まで丁寧に聞くことを 意識して会話するよう心掛ける

・登下校や行事などで積極的に挨拶で 地きる関係や環境づくりを推進する 生が楽しく誰もが参加できる地 域行事を提供する